

NSD-12/NSD-15/NSD-23

機能：(T)RS-485通信表示器

■ 特長

①通信表示器

RS-485通信入出力対応で上位PCからの数値データ表示する通信入力表示器です。パソコンやシーケンサなどからの数値データ表示にご利用いただけます。

②メータ間通信

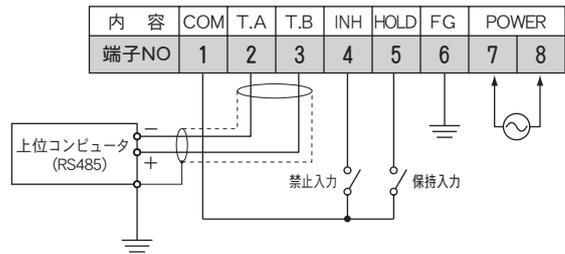
RS-485出力付の当社メータからの表示データを上位PC不要で表示します。対応機種はお問い合わせください。

■ 仕様

表示部	最大6桁表示（ゼロサプレス表示、小数点任意設定可能）
通信方式	2線式半二重、調歩同期、EIA RS-485に準拠
通信プロトコル	HENIX標準(伝送コード:ASCII)またはMODBUS-RTU
伝送速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400 (bps)
その他	データ長:7bit/8bit ストップビット:2bit/1bit パリティ:偶数/奇数/なし
ケーブル長	最大500m
表示文字	数値:1234567890 英字:ABC~YZ, abc~yz (小数点や記号など詳細は取扱説明書をご参照下さい。) ※メータ間通信の場合は上位メータ表示に依存します。
設定値メモリー	内部フラッシュメモリーによる(5年/回,10万回)
表示値メモリー	内部フラッシュメモリーによる(5年/回,10万回)電源リセット選択可
付属品	キャプコン:2個 取付金具:1式

■ 端子配列

入力および電源などの配線は表示盤内のネジ端子(8P)へ行います。



INH(禁止)入力：信号ON間、データ送受信を行わず現在表示値を保持します。その際、表示値は点滅します。(通信禁止状態)
通信による表示値の書き換えを一時的に受け付けなくします。

HOLD(保持)入力：信号ON間、表示値を保持します。単に操作時の表示値を見かけ上保持するものでデータ入出力は継続しています。

INH入力	負論理入力（無電圧入力）
HOLD入力	(内部は約12Vを1.5kΩでプルアップしています。) 最小ON中:20msec 応答遅れ時間:30msec以下

通信表示器



上位機器からの表示データを表示します。
異なるユニットNo.を設定し最大31台まで接続可能。

A//データ書き込みコマンド例 (HENIX標準プロトコル)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥
STX 01 00 0005678 ETX (BCC)

- ①STX: スタートコード
 - ②アドレス: ユニットNo. (パラメータで設定)
 - ③識別子: 命令コード (例:「00」表示値書き込み)
 - ④数値データ: 符号付7桁
 - ⑤ETX: エンドコード
 - ⑥BCC: BCCデータ (有無をパラメータで設定)
- ※BCCは、STXからETXまでの排他的論理和。

B//データ書き込みレスポンス例 (HENIX標準プロトコル)

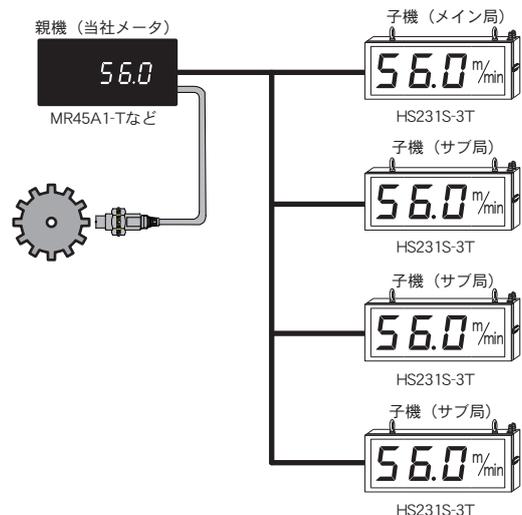
① ② ③ ④ ⑤
STX 01 00 ETX (BCC)

- ①STX: スタートコード
- ②アドレス: ユニットNo. (パラメータで設定)
- ③識別子: レスポンスコード (例:「00」正常終了)
- ④ETX: エンドコード
- ⑤BCC: BCCデータ (有無をパラメータで設定)



メータ間通信

当社メータの表示値などをプログラム不要で本メータに表示します。
本機を最大4台まで接続し遠隔表示可能です。



●プログラム不要でこんなに便利

- ① 2箇所同じギア回転数を表示させたいがセンサ出力を2台のメータに分岐か。
→センサとメータ1組で、最大4箇所同じ表示ができます。
- ②距離離れた事務所などで現場の表示を確認したい。
→線路長は最大で500mまで可能。大型表示機器HS-Tでも表示できます。